

2024年度 日本工学院八王子専門学校											
電子・電気科 電気工事コース											
電気工事実習 3											
対象	2年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	篠崎 知弘、谷野 昭夫、阿部 雅彦、計良 信和			実務経験	有	職種	電気技術者				
授業概要											
この科目を受講する学生は、電気工事の現場施工における電気設備配線工事の応用実習として現場に対応した一連の流れを習得する事が出来ます。1年次の基礎的な実習にプラスアルファとしての内容となり、より実践的な実習内容となります。現場でも危険の伴う高圧受電設備での端末処理技術や配管工事に対する応用実習。建築現場に模した実習設備での配管工事実習。向上での計装設備に適した制御系実習など多岐にわたる応用実習となり、現場での施工を行う上での基準を学び、総合的に理解できるようになるのがねらいです。											
到達目標											
この科目では、学生が電気工事業界から求めら、今後進むべき「電気工事施工技術者」としての現場管理技術や施工技術の範囲における、基礎知識や応用実習の習得が目標となります。実際の施工現場をイメージし理解することが重要であり、時間の効率化や専用工具の使用方法を理解する。施工現場での工期短縮や協力企業との連携に必要な材料の扱い方を学び理解します。他業種や業界への発信力を養い、現場活動を行うための必要な能力を具体的にイメージすること、無駄の無い効率的な現場作業の重要性を理解することを目標にしている。											
授業方法											
配布資料をもとに実習を進める。課題について説明すると共に、材料や工具の取り扱い上の注意点を理解させる。また、怪我をしないように安全作業に気を配らせる。質疑応答は随時受け付ける。											
成績評価方法											
試験・課題：40％課題の完成度を総合的に評価する。レポート：20％実習終了後に提出報告書を総合的に評価する。平常点：40％積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。											
履修上の注意											
授業中の私語や授業態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。遅刻、欠席、作業態度不良、課題の欠陥項目とその数についても評価の対象とする。実習後の清掃及び整理整頓についても評価の対象とする。											
教科書教材											
自作プリント											
回数	授業計画										
第1回	基礎配線工事①パイロットランプ										
第2回	基礎配線工事②3路配線										
第3回	基礎配線工事③4路配線										

2024年度 日本工学院八王子専門学校	
電子・電気科 気工事コース	
電気工事实習 3	
第4回	間仕切り配線
第5回	金属製電線管
第6回	可とう管配管
第7回	スラブ配管
第8回	高圧端末処理
第9回	プログラミング
第10回	ネオン管実習
第11回	測定器の特性試験
第12回	電動機実験
第13回	高圧実験①単相変圧器の特性試験
第14回	高圧実験②単相変圧器の三相結線
第15回	高圧実験③OCRのテストの特性測定